

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

事業所名： 多機能型事業所 にじいろ（平成29年12月27日）

6名回答

| | | チェック項目 | はい | どちらとも | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|---------|----|---|----|-------|-----|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 5 | 1 | | 活動や機能訓練時など、向きや位置などに気を使っている。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 5 | 1 | | 規定より多い職員配置としているが、状況に応じて一体型事業所（訪問看護ステーション）の協力を得ている。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 6 | | | 出入りのドア、入浴の浴室へのドアは1.2m確保している。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 6 | | | 支援計画を中心に定期的な支援方向を多職種で共有するため会議を行っている。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 4 | 2 | | 今回はじめて利用者向け評価表を活用。小児懇談会の開催、家庭連携、送迎から家族ニーズに耳を傾け対応している。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 1 | 1 | 4 | 公開を予定している。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 2 | | 4 | 現在は未実施であり、来年度目標として検討中。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 6 | | | |
| | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 6 | | | ・今年度より支援計画会議を導入した。 各専門職からの客観的意見から支援計画への作成と実施し、利用者の個別性が出していきたい。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 2 | 2 | 2 | 発達指標などを参考に検討を行っている。 |

| | | | | | |
|----------|----|--|---|---|---|
| 適切な支援の提供 | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 4 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度から活動(療育)会議を開始し、立案をおこなっている。 ・どの職種にもわかりやすいように見える化も検討している。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 5 | 1 | 活動(療育)会議にて、計画性かつ標準化の検討をおこなっている。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 2 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・長期休みと、通常(放課後)とで活動内容を分けて考えている。 ・今後、支援計画にも対応等を明記していく。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | 3 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・具体的なものは整理できていない。 ・個別と集団活動の具体性までを計画に盛り込めることが今後の課題であり、適宜検討をおこなっていく。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 6 | | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 2 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・支援終了後に定期的には実施していない。 ・翌朝朝に打合せを実施しており、必要に応じて適宜、振り返りも実施している。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 4 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・十分な検証が不足している部分もあり。 ・会議等で検証や改善をおこなっているが、個々での振り返りの習慣化をトレーニングしていく。 |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|--|
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 6 | | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか | 3 | 3 | | 基本活動の再確認と共通認識をおこない、会議等で適宜支援の検討を行っていく。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 5 | 1 | | ・現状では管理者参加している。 ・各職種のスタッフが全員参加していけることを目標としている。 |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 5 | 1 | | ・年間計画の確認を行い、送迎時などに適宜確認を行っている。 ・今後、保護者向けメール連絡等の利用も学校側へ打診を検討する。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 6 | | | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 4 | 2 | | 必要に応じて、適宜実施している。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 4 | 2 | | ・現状では該当する児童はいないが、必要に応じて実施する。 ・各関係機関との連携強化には努めている。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 6 | | | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | 3 | 3 | ・マザーホーム同一敷地内での他事業所交流をおこなっている。 ・今後、同年代の地域交流を検討を行っていく。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 6 | | | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 6 | | | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 2 | 2 | 2 | ・プログラム化されたトレーニングは特に行っていない。 ・適宜、検討し実践していく。 |
| | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 6 | | | |

| | | | | | | |
|--------|----|---|---|--|--|--|
| 保 護 | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 6 | | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 6 | | | |

| | | | | | | |
|----------|----|---|---|---|---|--|
| 者への説明責任等 | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 6 | | | ・会議で話し合い、対応している。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 3 | 3 | | ・マザー便り、ブログでの発信は行っている。 ・にじいろ便りの定期発行が課題。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 6 | | | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 6 | | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 6 | | | 夏祭り、一周年記念行事等を実施している。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 3 | 3 | | ・職員周知のための研修やマニュアル意識の向上を図る。 ・訓練等は実施しているが少ないため、避難訓練や緊急時の対応等の訓練を定期的実施していきたい。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 3 | 3 | | ・災害等を想定した訓練は、施設全体で年2回実施している。 ・事業所レベルでの避難訓練等も定期的実施していきたい。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 3 | 2 | 1 | ・法人単位での実施はしている。 ・今後、事業所での研修も検討してく。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 3 | 2 | 1 | ・組織的な検討、ご家族との相談をおこなっている。 ・今後、個々に合わせた検討を更におこない、ご家族への説明と同意、支援計画等への記載をおこなっていく。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 3 | 2 | 1 | ・現状では、アレルギーのある利用児は利用していない。 ・今後、対象の利用児等の確認・実施手段等をマニュアル化していく。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 5 | 1 | | ・事業所内での検討をおこなっている。 ・施設内委員会での事例集作成の検討をおこなう。 |